

梁川ホームだより

●平成24年12月27日発行

No.

37

発行責任者

社会福祉法人信達福祉会 総合老人福祉施設梁川ホーム施設長 岡崎 康之
福島県伊達市梁川町字東土橋65-1 TEL 024(577)6111(代) FAX 024(577)6115
■ホームページアドレス <http://www.shintatsu.jp> ■メールアドレス yanagawa@shintatsu.jp

事業内容

- 特別養護老人ホーム 定員 80名
- 短期入所生活介護 (ショートステイ) 定員 20名
- デイサービスセンター I型
- デイサービスセンター II型
- 地域包括支援センター
- ケアハウス 定員 30名
- 指定居宅介護支援事業所

総合老人福祉施設
〔梁川ホーム運営理念〕
安全・安心・ゆとりの

梁川ホーム

1 梁川ホームは、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。

1 梁川ホームは、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。

9/16

敬老会を開催

いつまでもお健やかに

三井流舞踊研究会師範
三井歌玉様の踊りが
お祝いの席に華を添えて
くださいました



特集36「人間尊重の施設づくりに向けて」

梁川ホーム運営理念の具現化への第一歩

ご利用者、ご家族へ、より質の高い
サービスを提供していくために

社会福祉法人信達福祉会 サービス評価について

信達福祉会では毎年、特別養護老人ホームあつかし荘、梁川ホーム、川俣ホーム、ケアハウス広瀬、梁川デイサービス、川俣デイサービスのご利用者の皆様に対するサービスの提供状況についてサービス評価を実施しています。

サービス評価は、評価委員を普段からサービス提供にあたっている介護士、看護師、生活相談員等で構成し、はじめに各施設・事業所が自分たちのサービス提供状況について自己評価を行い、次に互いの施設・事業所を訪問し合って実際のサービス提供状況を視察し、自己評価結果についての質疑応答を行い評価が妥当であるかどうかを委員評価という形で判断する、という2段階の方法をとって行われます。

何を評価するのか？

サービス評価の項目は、より効果的なサービス評価が可能となるように、大きく2つの分野：サービスにかかわる分野と組織づくりにかかわる分野から約40の評価項目を設けています。いくつかの項目を記してみます。

- 利用希望者に対して、適切にサービス情報を提供しているか？
- 利用者が自立した生活が営めるような支援ができているか？
- 個々の介護（食事、入浴、排泄、機能訓練等）は、利用者の状態や意思を反映して行われているか？
- 利用者が快適に安心して生活できる環境がつけられているか？
- 地域との連携をもとに利用者の生活の幅を広げるための取組みは行えているか？

るか？

○事業所が目指していること（理念・基本方針）を明確化・周知しているか？

○事業所の機能や福祉の専門性を生かした取り組みができているか？

○職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいるか？

○個人情報保護は「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有しているか？

右に示した項目の他にも、利用者のケアプラン、サービス提供記録、リーダーシップ、人材の育成、社会的責任、利用者や地域のニーズの把握状況などの内容に沿って評価していきます。

評価は、ABCの3段階で行い、その分野の項目が全てできていればA、一つでもできていない項目があればB、まったくできていなければCとなります。

また、組織づくりにかわる分野でも、高齢者福祉に関する法・倫理・規範の周知、地域社会への情報開示や透明性、福祉の専門性を生かした取り組みなどがA評価となっています。

また、組織づくりにかわる分野でも、高齢者福祉に関する法・倫理・規範の周知、地域社会への情報開示や透明性、福祉の専門性を生かした取り組みなどがA評価となっています。

梁川ホームの評価結果とこれからの課題

今年度のサービス評価では、特養梁川ホーム、梁川

デイサービス、ケアハウス広瀬とも、サービスに関わる分野では、サービス計画や記録、個々のサービスの実施状況、ご利用者の健康維持や自立支援、安全な設備環境づくり等についてA評価となりました。これは、利用者個々のケアプランに基づき選択食やオーダー食など各種の食事サービス、栄養ケア、一対一対応による入浴介助、一人一人に応じた排泄方法や用品の検討、個別機能訓練などの実施、看取り介護、リスクマネジメントなどの取組みが評価として表れたものと考えています。

また、組織づくりにかわる分野でも、高齢者福祉に関する法・倫理・規範の周知、地域社会への情報開示や透明性、福祉の専門性を生かした取り組みなどがA評価となっています。これは、法人の倫理綱領に基づいた職員教育の徹底、ご家族に対する満足度調査の実施、また家族介護教室や認知症サポーター養成研修の開催などが評価されたもの

のだと思います。

一方評価の低かったものとして、ばらつきのない業務水準の確保、中・長期的視点に立ったサービス展開の計画と実行、また職員の資質の向上、人材育成、などがあげられており、ともにB評価となりました。

これらの評価結果によって、ご利用者に対してどの職員も同じようにサービス提供ができ、かつサービスの向上が図れるよう、業務の見直しや手順書の整備など業務改善を行っていくことが、今後の課題としてあらためて確認されました。

また、これまで力を注いできた個々のサービスをさらに充実させていくこととともに、将来展望をもとにしてサービスの全体像をデザインし、実行、振り返り、見直しを繰り返す過程を現場のなかに築くこと、また同時にそれを担っていく職員一人ひとりが互いに力を育み合い資質を伸ばせる取り組みを進めることが求められていると感じました。

らかになった課題について確実に解決を図り、ご利用者、ご家族に対してより高い質を備えたサービスを提供できるような努めて行きたいと思っています。

認知症高齢者を みんなで支えよう

日本の認知症高齢者は305万人超との推計が出されましたが、これによれば65歳以上の10人に1人は認知症を患っていることになりました。認知症高齢者は今後も増える見込まれており、少子高齢化の中で認知症高齢者の介護をどうするかは家族だけでなく、地域の問題としても考えなくてはならない状況となっています。

梁川ホーム認知症介護委員会では認知症高齢者の安心のためにという大きな目的のもと、今年度の目標の一つに「地域・家族へ発信し認知症高齢者を支えるネットワークを拡げよう」を掲げています。認知症高

齢者を抱えるご家族が少しでも楽に介護ができるように、地域の皆で認知症高齢者を温かく見守っていくことができるように、そんな思いで梁川ホームができることは何かを考えています。その活動として、認知症サポーター養成講座、家族介護者教室を開催しました。

認知症サポーター 養成講座

認知症サポーターは養成講座を受けた人が認知症の人やその家族を温かく見守り、支援する応援者（サポ



ーター)になる取り組みです。全国的な取り組みで、355万人以上の人が講座を受講しサポーターとなっています。

梁川ホームでは昨年度までに園長以下全職員が受講してサポーターとなっており、今年度からは地域へ向けた養成講座も開催することとしました。

その第一弾として、ボランティア体験で梁川ホームに来てくれる中学生の皆さん向けに認知症サポーター養成講座を開催し、サポーターとなりました。

8月29日に松陽中学校1年生18名、10月4日に伊達中学校1年生19名の生徒さん達が受講し、37名の認知症サポーターが誕生しています。当日はビデオを見ながら認知症について学習してもらったあと、実際に町で出会ったかどうかについてグループ毎に考えてもらいました。



認知症家族介護者教室

平成21年度から開催し、今年は11月17日に行い4回目を迎えました。認知症介護委員会メンバーによる手作りの教室ですが、認知症の困った症状への対処法や寸劇を交えた事例紹介、職員を交えてのご家族様との意見交換などを行いました。毎回の事ながら意見交換ではご家族様それぞれのお話に会場は和気あいあい、いろいろと教えられることが多く、ますます頑張らなければと思いを新たにしましたところでした。





やっぱり温泉はいいですね

梁川ホーム

9/27
日帰り温泉

飯坂温泉大島へ日帰り温泉に行ってきました。

今回は7名の利用者様といっしょにゆつくりとお湯につかり、心も身体もポカポカに温まりリフレッシュしてきました。温泉に入ったあとの会食は、テールブルいっぱいに、お刺身、天ぷら、炊き込みご飯とご馳走が並べら

れ、とてもおいしくいただきました。大満足でした。お土産はやっぱり温泉饅頭でした。また、来年も行きますよね。



ご馳走がいっぱい感激でした

芋煮会

10/4

食欲の秋といえば芋煮汁。身体が温まり最高です。

利用者の皆様には昔を思い出しながら、芋煮の材料を切っていたり、手動かしながら、思い出話に花が咲き、楽しく参加されていました。



自分達で作った芋煮汁とおにぎりは大変おいしかったです。



10/15

お寿司を食べに出掛けました



気の合う利用者様同士で秋めいてきた日にドライブしながら、お寿司を食べに行ってきました。次から次へ回ってくるお皿のお寿司に目移りしながらも、やっぱり自分の好きなエビやマグロに舌鼓をうち大満足で帰ってきました。

10/16

バスハイク 菊人形見学



菊人形展と聞けば秋ですね。二本松菊人形展を見学に行ってきました。

秋空の澄みきった空の下、途中の道の駅、あだたらでランチタイム。それぞれ好きなメニューの天丼、蕎麦、ラーメン、うどんなどお腹いっぱい食べてきました。

菊人形展散策は、色とりどりの菊の花を



ソフトクリームを2個もらってこの表情、わかりますね!



「また、来たいね」という利用者さんの声が聞かれ、私達職員もうれしくなりました。また、来年も企画したいと思います。



ボランティアコスモス様の股旅ものと師匠様のかっこいい踊りに皆様、ほれほれです。



ただき、歌や踊り、手品などを披露していただきました。

デイサービスセンター

敬老会

今年も、敬老会には、いつもご協力をいただいているボランティアコスモス様にお越し



Hobara カラオケ&ダンスクラブの皆様の踊りにうっとり



大枝踊りクラブの皆様のあでやかな姿です

斉藤しのぶ様に来ていただき、いっしょに歌ったり、踊ったりしました。感激して涙ぐむ利用者様もいらっしゃり、楽しいひとときを過ごすことができました。

枝豆をもうでいただきましたが、その早いこと、早いこと、あっという間に過ぎ終わりました。茹でた枝豆はおいしかったです。



活動の一環として自然とふれあおうと、デイサービスの畑で収穫した枝豆を利用者様に、もうでいただきました。また、収穫を終えた畑や玄関の入口には、美しいパンジーの花や春に備えてチューリップ

レクリエーション活動



利用者様に手伝っていただき、パンジーの花やチューリップの球根をきれいに植えていただきました。



プの球根を植えていただきました。デイサービスの玄関前が華やかになりました。



これを眺めているとなごみますね!

デイサービスⅡ型の
ほのぼのアート
秋を彩る
作品展
(ちぎり絵)



ケアハウス広瀬

9/16

敬老会

今年は、ケアハウスで米寿を迎えられた方は3名、喜寿の方は1名いらっしゃいました。

敬老会の席上、伊達市よりお祝い金をいただきました。また、ケアハウスからもお祝いの品をお送りして皆でお祝いをしました。



10/4

芋煮会

10月に入り秋めいてきた初旬に、芋煮会を行いました。あいにくの雨模様のため、初めて室内で芋煮会を行いました。ちようどボラ

ンティア体験にこられた伊達中学校の一年生に枝豆もぎなど手伝っていただきました。



年々手伝ってくださる方が少なくなり、ちようびり寂しいです。今後は少数精鋭でがんばっていきます。中学生は大活躍でした

10/25

バスハイク

紅葉にはちよつと早かったですが、材木岩七ヶ宿ダムへとバスハイクに出かけてきました。メーンはやつぱり面白い物かな？



10/19

芋掘りをしました

昨年は、ネズミに食われた上に収穫量も激減したサツマイモでしたが、今年こそはと意気込んだサツマイモの収穫日、今年はそういえば日照りの夏だったなあ、胸がドキドキで



10/17

富野小学校の児童さんと交流



演奏の後はじゃんけん遊びや、好きな科目、好きな食べ物を聞き合ったりして、楽しみました。若さのエネルギーをいただきました



掘り始めました。いやあ、出てくる出てくる大収穫の芋掘りでした。利用者の皆様には腰を曲げながらの作業を頑張っていたいただきました。収穫後は焼き芋、天ぷら、ちようびり甘く煮てと何度もいただきました。

11/22

梁川保育園の園児の皆さんの来園がありました

富野小学校の全校児童さんたちがケアハウスの訪問され、鼓笛隊の演奏や利用者さんとのふれあいの時間を持ちました。子どもたちのハツラツとしたように利用者の方は感激をされていました。その後、日にちが過ぎても思い出しては、子どもたちのことが話題に上っています。



かわい園児の皆さんのお遊戯に拍手喝采でした。

伊達市梁川地域包括支援センター

介護保険制度とは

住み慣れた地域で安心して暮らしを続けるために、介護を社会全体で支え、利用者自身が選択した総合的な介護サービスを安心して受けられる制度です。

被保険者は40歳以上の方です。

サービスを受けられるのは

65歳以上の方で、寝たきりや認知症などで介護や支援を必要とする状態になったとき、介護サービスを受けることができます。

40歳から65歳未満の方でも、加齢に伴う疾病（法律で定められた16種類の疾病）によって介護や支援が必要となったときには、介護サービスの対象となります。

ます。本人負担は原則として介護サービス費の一割です。

利用の手続きは

本人やご家族、または代理の方が要介護認定を申請（事業所による提出代行も可能）し、介護を必要とする方の心身の状況などの調査が行われます。

介護認定審査会で要介護や要支援の認定を受けた場合は、介護予防サービス計画または介護サービス計画に応じたサービスを受けることができます（非該当と認定された場合は介護サービスの利用はできません）。

手続きの流れ

①申請する

申請の窓口は総合支所、地域包括支援セン

ター

（申請に必要なもの）

・申請書

・介護保険証

40歳～64歳の方は健康保険の保険証

②訪問調査

調査員が自宅などを訪問し、心身の状況について調査が行われます。

③主治医意見書

本人の主治医に心身の状況についての意見書を作成してもらいます。

④審査判定

・一次判定

・二次判定（審査会）

⑤認定・結果通知

介護状態区分を認定し、結果が通知されます。要介護によって利用できるサービスが違います。

・要介護1～5…介護サービス

・要支援1・2…介護予防サービス

・非該当（自立）…地域支援事業

たとえば……

○ 脳梗塞で入院したが、麻痺が残ってしまった。退院と言われたがどうしよう？

○ 年のせいと思っていましたが、なんか最近ものわすれがひどく、なっとなつてきた。どうしたらいいんだろう。

地域包括支援センターにご相談下さい。

状況伺い、介護保険申請からお手伝いし

地域支援講習会

どこへでも参ります

どうぞお気軽にご相談ください

伊達市梁川地域包括支援センター

TEL 024(577)6111



介護保険や福祉用具など、介護に関するご相談をお受けしております。お気軽にご相談ください。

梁川ホーム指定居宅介護支援事業所

TEL 024(577)6111



梁川ホーム指定
居宅介護支援
事業所

要介護一以上の方のケアプランを作成いたします。お気軽にご相談ください。

地域包括支援センターは総合相談窓口になっていきますので、どんなことでもお気軽にご相談ください。

☎(577)6111

口腔ケアと誤えん性肺炎について

3回目の今回は、誤えん性肺炎を予防するための発見方法と対策についてお知らせしたいと思います。

前回、前々回でお知らせした誤えん性肺炎について、早期に発見し、予防するための肺炎の兆候と食事の摂り方の注意点を説明させていただきます。

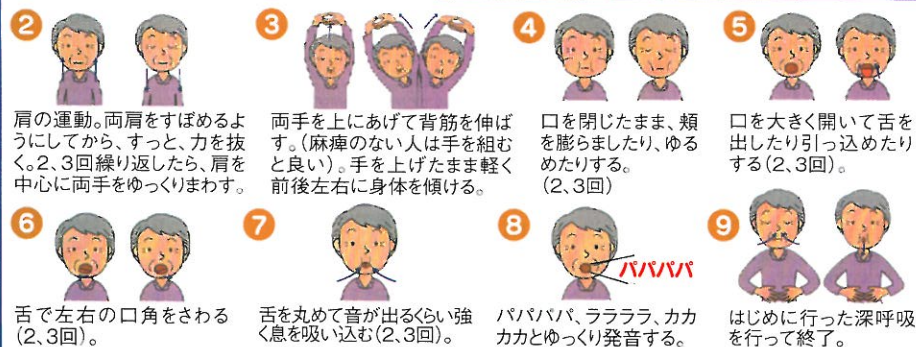
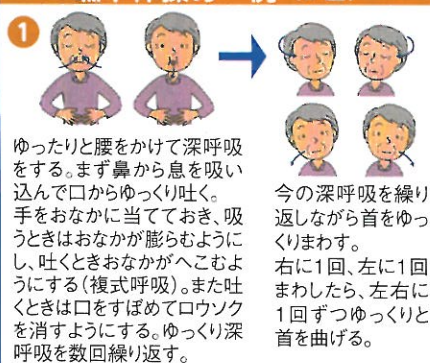
誤えん性肺炎の兆候 チェックポイント

- 激しく咳き込む、熱がでる
- 濃い痰が多くなつた

好ましい摂食姿勢(1図)



嚥下体操の一例(2図)



藤島一郎: 脳卒中の摂食・嚥下障害、医歯薬出版より引用

誤えん性肺炎予防の食事の摂り方と口腔ケア

- 1、誤えんを防ぐための食事の摂り方1図参照
- 2、嚥下がスムーズに行われるよう食前や日常的な体操として口腔体操を行うことも効果的です。(2図参照)
- 3、食後は口の中に食べ物がないことを確認し、うがい、歯磨き、口腔清拭などを行い口の中の清潔を保ちましょう。

ボランティアの来園状況

(平成24年8月~平成24年11月)

- ▲ 斎藤しのぶ様(福島市): デイサービス慰問、富野小学校様(梁川町): ケアハウスで鼓笛隊演奏、大枝踊りクラブ様(梁川町): デイサービスで舞踊、Hobaraカラオケ&ダンスクラブ様(保原町): デイサービスでカラオケ、舞踊、梁川保育園様(梁川町): ケアハウスでお遊戯、お年寄りとの触れ合い、津田好子様(梁川町): デイサービスで利用者の話し相手、大沼ミヨ子様(梁川町): ケアハウス折り紙教室講師
- 敬老会
- ▲ 三井流舞踊研究会師範三井歌玉様(飯坂町): 舞踊ボランティアひろせ様(梁川町): 配膳・食事介助

デイサービス敬老週間

- ▲ ボランティアコスモス様(梁川町): 舞踊、手品

彼岸供養

- ▲ 臥龍山興国寺大方丈様、副住職様(梁川町): ご読経、ご法話

いも煮会

- ▲ 伊達中学校1年生ボランティア体験(伊達市): いも煮会準備

定期

- ▲ JAふれあいグループつくし会様(梁川町): ボランティア喫茶、梁理ホーム会様(梁川町): 理髪、丹野隆雄様(梁川町): ケアハウス陶芸教室指導、伊達方部退職公務員連盟女性部様(梁川町): 特養利用者の話し相手・壁面装飾、三浦理容店様(梁川町): デイサービス利用者の理髪、梁川俳句会様(梁川町): 毎月ケアハウスに俳句を掲示、椎名正枝様(梁川町): ケアハウスカラオケ指導、曳地信子様(梁川町): デイサービスで利用者の話し相手、耳話コミュニケーションズ様(梁川町): 特養利用者の話し相手

遺志(芳志)寄付の状況

(平成24年8月~平成24年11月)

- 【遺志】
- 舟山 紘二様(故江川 ハル様)

- 大沼 重好様(故渡邊 ソノ様)
- 瀬谷 和義様(故瀬谷 ミネ様)
- 草野 等様(故草野 ヒデ様)
- 金間 源治様(故金間 久子様)
- 奥山スエ子様(故奥山 清様)
- 松浦 キヨ様(故松浦 勝七様)
- 【芳志・寄付・寄贈】
- ▲ 幕田義男様(梁川町): 誕生日祝いとして、八巻幸一様(梁川町): 敬老会お祝、秋葉哲郎様(梁川町): 敬老会お祝、池田昭義様(東京都): 彼岸供養お志、佐藤正幸様(伊達市): 彼岸供養お志、伏見好光様(新地町): 彼岸供養お志、斎藤代理子様(国見町): お志、大橋信夫様(梁川町): お志、JA伊達みらい様(保原町): 完熟桃、JA共済連福島様(福島市): 車椅子10台、JA伊達みらい梁川総合支店様(梁川町): 梁川ふるりの秋祭りJA祭チャリティ募金、秋葉重治様(梁川町): 米、抜洪柿、菊池ノブ子様(梁川町): タオル、石鹼、紙オムツ、匿名希望様: 福島花見山DVD、大枝踊りクラブ様(梁川町): 雑巾、岡崎貞子様(梁川町): 給食材料品